（様式1）

学校番号	37	学校名	茨城県立玉造工業高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学校教育法施行規則
・学習指導要領
・茨城県学校教育指導方針
・いばらき教育プラン
等

保護者の願い

豊かな人間性と技術を身につけて卒業をしてもらいたい。

校訓

至誠・勤勉・協和

学校の教育目標

・現代社会における工業の果たす役割の浸透と、適切な技能及び技術の習得を図る。
・地域社会で活躍できる未来をつくる人材の育成。
・すぐれた個性の伸長と豊かな人間性の育成に努める。

道徳教育重点目標

人間としてよりよく生きていく力を育み、豊かな心を育て、他者との関係を築きながら、将来出会うであろう様々な場面、状況においても適切に判断し、人生や社会を切り開いていこうとする実践力を高める。

生徒の実態

・純朴な生徒が多く、比較的落ち着いた学校生活を送っている。しかし、規範意識が低く、ルールやマナーを守れない生徒も見受けられる。
・資格取得や技能習得に積極的に取り組む生徒が多い。
・地元企業へ就職希望する生徒が多く、就職率も高い。

地域の実態

霞ヶ浦に近く、地元行方地区、鹿嶋・神栖、石岡・土浦の工業地帯に隣接した緑豊かな環境に設置されている。

各教科・科目

国語	敬語を含む適切な言葉遣いを身につけさせる。読書を通して感動する豊かな心を育成し、相手の立場や気持ちを考えられる優しい心を養う。
地歴	社会との関わりを意識して現代的な課題を歴史的に考察する力の育成をする。
数学	基本的問題の反復練習により、社会人としての数学的思考をを身に付けさせる。
理科	自然に対する関心を高めさせ環境問題に興味を抱かせる。
保体	大きな声で元気よく挨拶させる。服装を正し、集合解散を迅速に行い、「公」意識の高揚をはかる。
芸術	制作を通して物を創る喜びや鑑賞を通して作品や環境の美しさを味わう心を養う。
外国語	英語学習を通じて、多文化共生社会で生きる態度を身に付ける。
家庭	地域社会に適応できる人材の育成を目指す。
情報	情報を主体的に収集・判断し、情報の発信伝達など、情報の科学的な理解に裏打ちされた情報活用能力を育成する。
総合的な探究の時間	本校の教育目標を踏まえて探究の見方、考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えつつ、よりよく課題を発見して解決していくための資質と能力の育成を目指す。
専門	実践的・体験的な学習活動の中でのもの作りを通じて、地域社会の持続的な発展を担う職業人の資質の育成を目指す。

特別活動

ホームルーム活動

本校の教育目標を踏まえて、ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見いだして解決するために話し合い、合意形成し、それぞれの役割を分担し協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために、意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、集団や社会の形成者としての見方・考え方を育成する。

公民科

公共

主権者として、社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に入れて、課題を主体的に解決する能力を養うために、基礎的・基本的な「知識及び技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」、現代社会に生きる人間として在り方生き方を育成する。

生徒指導

・登校時の指導により、あいさつの励行や遅刻の防止、身だしなみを整える等、基本的な生活習慣の定着を目指す。

・交通安全講話や、バイク講習を実施することにより、交通ルールの遵守を徹底し、交通安全意識の向上を図る。

・警察等の外部機関の協力を仰ぎ、保護者や地域住民とも連携し、生徒の問題行動等の未然防止に努める。

家庭との連携

・年2回の三者面談を実施し、生徒・保護者・教員との連携を密にする。

・定期的に授業公開を行い、本校の教育活動に対する理解を深める。

・PTA広報誌や玉工通信の発行やホームページの内容を充実することにより、本校の教育活動を周知する。

地域社会との連携

・地元企業でのインターンシップを実施し、本校の教育活動への理解を深める。

・地域の挨拶運動へ積極的に参加し、地域社会との交流を深める。

・地域アンケートを実施し、本校への関心と理解を深める。

・産業祭や地域のイベント等へ参加し、ものづくりを通して地域に貢献する。